

昭和49年度 和歌山県文化奨励賞

た ぶせ ま すら お
田 伏 大丈夫 (号 生石)

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治39年

◎業績及び経歴

大正11年黒江町立漆器学校本科、同13年研究科卒業後、漆芸一すじに生き、昭和2年母校の教員となり、昭和37年現在の和歌山県漆器試験場漆工部長となる。和歌山県展、和歌山、海南両市展審査員を歴任、また日本漆器検査協会検査員などの要職にあるかたわら地場産業の技能者養成はもちろん漆芸の研究、製作に打ち込まれた。

その間、天皇皇后両陛下に作品を献上する栄に浴されるとともに大正11年には皇太子殿下に御買上の栄を賜わった。

展覧会での入賞入選は数多く、主なものでは日展入選9回、うち7回連続入選している。多量生産化されてゆく漆器業界のなかにあって、伝統工芸の技法を守り、漆器産業の振興と意匠および技術の向上に寄与し、業界の指導的な役割を果たされている全国にも数少ない漆工の一人で現在日本漆工協会、日本現代工芸美術家協会京都会、黒潮会々員でもある。